

# 省エネ診断(ウォークスルー診断)のご案内

省エネ診断(ウォークスルー診断)とは、各設備とそのエネルギー利用の現状について、現地調査による診断を経て、エネルギーコスト削減を目的とした改善のご提案を行う、中小企業者様に特化した国の補助事業です。

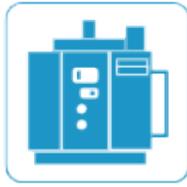
## ●診断可能な設備



空調設備



照明設備



ボイラ・給湯器



受変電設備



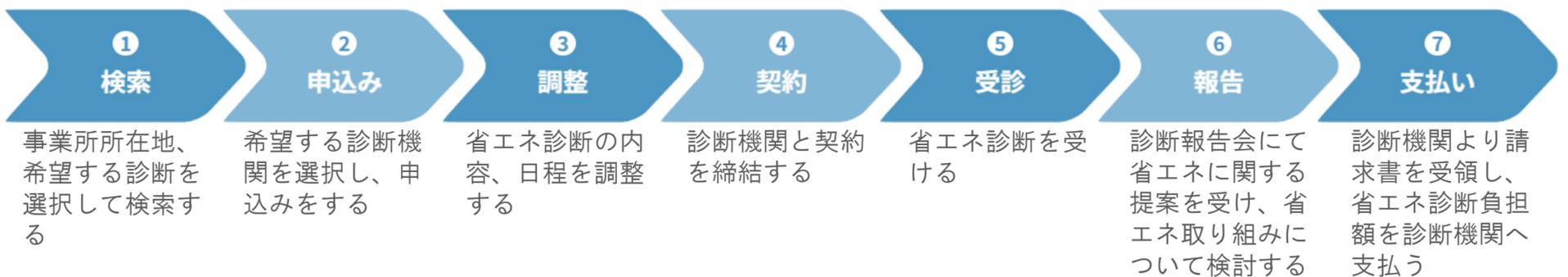
デマンド

- ・現地訪問時に現状を聞き取り、ご利用者様が気になる設備を中心に診断いたします。エネルギーの削減効果に対し、投資額および労力などを総合してご提案いたします。

## ●診断の流れと料金

診断プラン	設備単位プラン	
	1設備	2設備
料金	5,720円	11,440円

省エネ診断コース費用の9割が国から補助される事により、左記の金額となります。



- ・下記の特設webサイト内のお申込みフォームにてお申込みください。
- ・弊社による診断を希望される場合は、診断機関の検索画面にて「[ほくでんサービス株式会社](#)」をご選択ください。

<省エネ診断事務局>

一般財団法人環境共創イニシアチブ (S I I)

令和6年度 補正事業 ナビダイヤル IP電話用番号

☎ 0570-000-680 ☎ 042-303-0413

受付時間:10:00~12:00、13:00~17:00(土曜、日曜、祝日を除く)  
※お電話でのお問い合わせの際は、通話料がかかりますのでご注意ください。

特設サイトURL <https://shoeneshindan.jp>

詳しくはこちら

## ●診断を受けられる事業者

- ・中小企業基本法に定める中小企業者
  - ・会社法上の会社に該当せず、前年度または直近1年間のエネルギー使用量(原油換算値)1,500kL未満の事業所(※)
- ※ 会社法上の会社以外とは、「社会福祉法人」「医療法人」「学校法人」「特定非営利活動法人(NPO法人)」「協同組合」等をいう。

<<< ご質問やご不明点などございましたら、お気軽にお問い合わせください。 >>>

診断内容に関する お問い合わせ先	<b>ほくでんサービス株式会社</b> 営業本部 ソリューション営業部 省エネ課 〒060-0051 札幌市中央区南一条東2丁目6番地 大通バスセンタービル2号館6F TEL: 011-251-2282 e-mail: R0014530@hokuden-service.co.jp	<b>ほくてんグループ</b>
---------------------	--	-----------------

## 〔改善提案事例〕

- 改善のご提案は、「運用改善」と「投資を伴う設備更新による改善」の2種類ございます。いずれも省エネ方法のご提案に加え、下図の通り、どの程度省エネになるのかを定量的に評価し、ご報告いたします。

### 投資改善による提案例①：照明設備の更新 テナント・ビル共用部 約1,600㎡



照明設備

階段照明は、既に人感センサーによる省エネの工夫がされておりました。照明自体をLED化する事で更なる省エネ効果が期待できますので、LEDへの更新をご提案いたします。

・現在の照明

・LED照明へ変更後の消費電力

場所	階数	台数(台)	仕様	消費電力(W/台)	消費電力合計(kW)	点灯時間(h/年)	使用電力量(kWh)	仕様	台数(台)	消費電力(W/台)	消費電力合計(kW)	点灯時間(h/年)	使用電力量(kWh)
バックヤード	2・3・4	21	蛍光灯	64.0	1.34	4,380	5,887	LED照明	21	33.1	0.70	4,380	3,049
バックヤード	2	1	蛍光灯	24.0	0.02	4,380	105	LED照明	1	11.4	0.01	4,380	50
バックヤード階段	2・3・4	6	蛍光灯	40.0	0.24	4,380	1,051	LED照明	6	15.8	0.09	4,380	416
フロアー階段・事務所	B1-6	41	蛍光灯	20.0	0.82	4,380	3,592	LED照明	41	8.5	0.35	4,380	1,525
フロアー	2・3	192	蛍光灯	64.0	12.29	4,380	53,821	LED照明	192	27.9	5.36	4,380	23,473
合計				212.0	14.72		64,456			96.8	6.51		28,512

削減効果：56%

一次エネルギー削減量(MJ/年)	CO2削減量(t-CO2/年)	費用削減額(千円/年)	概算投資額(千円)
310,556.2	19.2	1,222	5,900

### 投資改善による提案例②：空調設備の更新 テナント・ビル共用部 約1,600㎡



空調設備

現地調査時に空調設備を確認しましたが、設備が老朽化しておりました。設備を更新した方が性能(COP)が高いため、最新機種への更新をご提案いたします。

・現在の空調設備

・更新後の空調設備

機種	台数(台)	年間運転日数		運転時間(h)	冷房時消費電力(kW)	暖房時消費電力(kW)	年間使用電力量		機種	台数(台)	冷房時消費電力(kW)	暖房時消費電力(kW)	年間使用電力量	
		冷房(日)	暖房(日)				冷房(kWh)	暖房(kWh)					冷房(kWh)	暖房(kWh)
業務用エアコン	6	120	240	12	8.13	8.16	11,707	23,501	業務用エアコン	6	5.97	5.96	8,597	17,159
業務用エアコン	4	120	240	12	3.17	3.15	4,558	9,063	業務用エアコン	4	1.90	1.90	2,730	5,460
業務用エアコン	3	120	240	12	3.50	3.35	5,046	9,651	業務用エアコン	3	2.38	2.59	3,421	7,456
合計	13						21,311	42,215	合計	13			14,748	30,076

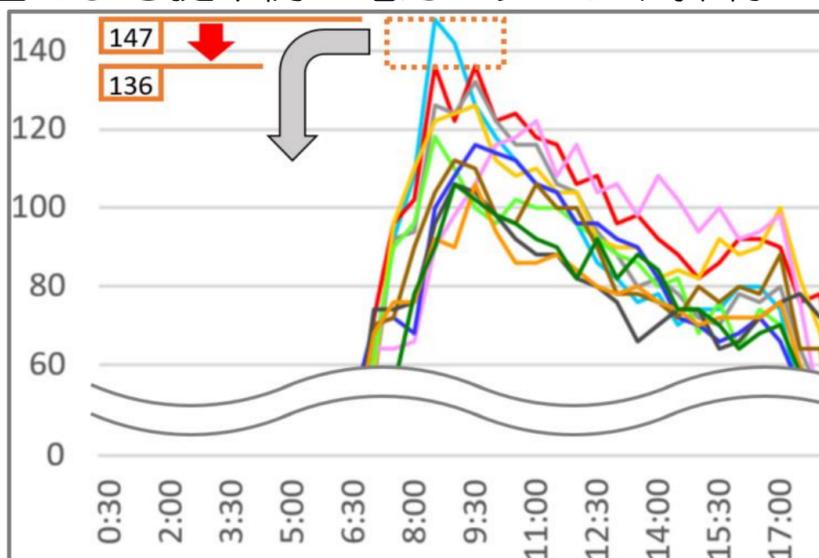
削減効果：29%

一次エネルギー削減量(MJ/年)	CO2削減量(t-CO2/年)	費用削減額(千円/年)	概算投資額(千円)
161,585.3	10.0	636	14,723

### 運用改善による提案例：電力のデマンド抑制



デマンド



### 一般事務所 約3,000㎡

現状の最大需要電力(デマンド)は冬季の朝で、147kWでした。

冬季の朝に暖房用途のエアコン稼働が集中し、デマンドを押し上げていることが想定されます。

エアコンの集中管理モニターでデマンドを確認し、同時使用を回避する事により、契約電力を低減する余地がありますので、暖房におけるエアコン運転開始時刻の前倒し運転をご提案いたします。

一次エネルギー削減量(MJ/年)	CO2削減量(t-CO2/年)	費用削減額(千円/年)	概算投資額(千円)
0.0	0.000	296千円	0千円